

# News Release



令和4年12月13日

各報道機関文教担当記者 殿

## 加賀友禅作家に金沢大学附属小学生がプレゼン

このたび、金沢大学附属小学校複式学級の児童が【Project HESO】の一環として、加賀友禅の魅力を広く発信するための商品開発にむけ、加賀友禅作家の毎田仁嗣氏（毎田染画工芸）に協力を得るためのプレゼンテーションを行うこととなりました。

複式学級児童は、4月から総合的な学習の時間で、加賀友禅について学習をしており、「加賀友禅の売り上げが減少している。作家も減少して、このままでは加賀友禅が衰退してしまうかもしれない」という課題を知るなかで、自分たちの手で何かできることはないか考え、カードゲームやスゴロクなど、手軽に買えて楽しめる商品の開発を企画しました。当日は、友禅作家の毎田氏へ、商品開発への想いを伝え、デザイン作成の協力を依頼します。

### 加賀友禅作家に金沢大学附属小学生がプレゼン

実施日 12月15日（木）13：30～14：10  
実施場所 金沢大学附属小学校2階 複式学級（金沢市平和町1-1-15）  
参加者 附属小学校複式学級児童23名、毎田仁嗣氏（毎田染画工芸）  
実施内容 児童が考えたアイデアを友禅作家の毎田氏に伝え、デザイン作成の協力を依頼します

つきましては、当日の取材・報道をお願いします。

取材の際は、12月15日（木）9：00までに別紙取材申し込みのFAXをお願いします。

#### 【問い合わせ先】

金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係（担当：寺田）

TEL 076-226-2182 FAX 076-245-8630

e-mail: edfuzol@adm.kanazawa-u.ac.jp（9：00～17：00）

別紙

取材を希望する場合は、本申込書を  
12月15日(木)9:00までに  
下記の宛先へ送付してください。

金沢大学  
人間社会系事務部総務課附属学校事務係  
FAX: 076-245-8630

申込日: 令和4年12月 日

## 加賀友禅作家に金沢大学附属小学生がプレゼン 取材申込書

報道機関名: \_\_\_\_\_

取材記者名: \_\_\_\_\_ 様

連絡先: \_\_\_\_\_ ( )

同行者(カメラマン等): \_\_\_\_\_ 名(上記記者除く)

カメラ等の内訳(台数): \_\_\_\_\_

(例) テレビカメラ 1台

日 時: 令和4年12月15日(木) 13:30~14:10

実施場所: 金沢大学附属小学校2階 複式学級

(金沢市平和町1-1-15)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、来校の際は、検温の上、マスクの着用(鼻と口の両方を確実に覆うこと)および手指消毒の励行等にご協力ください。  
また、取材記者・同行者数も最小人数でお願いします。

担当: 金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 寺田

TEL: 076-226-2182 FAX: 076-245-8630

MAIL: edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp

(目指すべき理想の姿)

## VISION

KU5

# 学校を拠点に、 新たな価値を創造する

KU5（金沢大学附属5校園）が、地域社会と協働でプロジェクトに取り組みます。プロジェクト誕生の背景には、グローバル化やAIの普及によって今後も不確実性が高まる時代の流れがあります。子どもたちが、予測困難な未来をよりよく生き抜くためには、自ら課題を見つけ、学び、考える力 — さらにAIに頼ることなく自らの判断で行動し、道を切り拓いていく力が必要です。そういった力を、子どもたちの中心（HESO）に育むことを教育機関の使命ととらえ、コラボレーション推進室が学校と地域社会の架け橋となって探究学習＝プロジェクトHESO（へそ）を実行し、新たな価値を創造します。

1



身体や物の「中心」を表すのが「HESO（臍・へそ）」であることからプロジェクト名をプロジェクトHESOとしました。学校を起点としたプロジェクトを通じて、子どもたちの中心（HESO）に新たな力が宿り、成長してほしいという願いが込められています。丸いへそをイメージさせる「O」の文字は、多くの○や△、□で構成され、社会の垣根をなくしてさまざまな人や物が集うプロジェクトの多様性を表現しています。

2

(果たすべき使命)

## MISSION

# HESOを創る

### 社会イノベーション創造プログラムの実施

プロジェクトHESOの中心となるのが、年齢に応じた「社会イノベーション創造プログラム」の実施です。5校園に通う3歳から18歳の子どもたちが自ら発見し、感じた実社会の課題に対し、さまざまなパートナー（地域人材・行政機関・一般企業・大学研究室など）の協力を得ながら、解決へのロードマップを子ども自身が模索します。推進室はパートナーの新規開拓や連携調整を行い、子どもたちが主体的に考えて動く「考動体験」を促します。プログラムの進捗状況や実施効果については公開予定のWebサイトにて随時発信予定です。

### 先端技術・教育データ活用プロジェクト

教員が情報端末において専用のシステムを活用することで、学びを「見える化」。そこで得られた気づきやデータを教育の場の現場にフィードバックします。

3

(プロジェクト内外に約束する価値・行動基準)

## VALUE

# 社会に誇れるストーリーの創造

外部パートナー・教員とともに次の時代の金沢を生み出す人づくり、これまでにない教育モデルの確立を目指します。プロジェクトには、誰もが自由に参加でき、互いの刺激を成長につながります。社会、そして未来に誇れる新しい物語を、私たちと一緒に創り出してください。

4